

BUDŌ

NEWS

今月のニュース

王子谷剛志

2度目の戴冠

平成28年全日本柔道選手権大会

旭化成



平成28年全日本柔道選手権大会



4月29日、平成28年全日本柔道選手権大会は、9108名の観衆が詰めかけて日本武道館で開催された。

今年の大会は、8月に行われるリオデジャネイロ五輪男子100kg超級の最終選考を兼ねている。国際大会7連勝中と破竹の勢いの原沢久喜（JR A）と、それを追うアスタナ世界選手権2位の七戸龍（九州電力）の推薦選手両名によるリオ五輪をかけた直接対決となるのか。昨年11月の講道館杯から始まった4年に一度の選考会も最終局面を迎えた。

また、体重無差別で競われる伝統の本大会では、両者以外に全国10地区の予選を勝ち抜いた40名の精鋭たちが、心技体の限りを尽くして「柔道日本一」を目指した。

中でも前回平成26年優勝の王子谷剛志（旭化成）は「昨年は自分らしさがなかった。今年は不完全燃焼しない」と語り、昨年導けなかった優勝への解を求める。また、同じ平成26年に準優勝の上川大樹（京葉ガス）は「自分は五輪に関係ないので大会を荒らしてやろうと思います」と、開き直りながら不敵な笑みを浮かべ、覇を狙った。

2年ぶり 王子谷剛志が 柔道日本一を掴む

決勝＝王子谷（上）が支釣込足を決めた

試合は国際柔道連盟試合審判規定で行われ、試合時間は6分。時間内で勝負がつかない場合は旗判定で勝敗を決した。

準決勝で、王子谷が七戸を大外巻込で破り、また上川が原沢に旗判定で勝利。王子谷、上川が五輪候補の七戸、原沢を準決勝で撃破する予想外の展開となった。

決勝では王子谷が上川を合技一本で降し、2度目の柔道日本一を決めた。王子谷は26年に優勝した後、思うような結果を残すことができなかった。意を決し、その苦しくもがいた暗闇を抜け、再び掴んだ日本一の栄光となった。また、大会後の五輪代表最終選考会では100kg超級代表として原沢久喜選手が選考され、男女14階級の日本代表がすべて決定した。王子谷剛志と上川大樹を中心に本大会を振り返る。



4月14日から立て続けに発生した平成28年熊本地震に伴い、大会に先立って来館者全員により黙禱が捧げられた。また、大会では義援金も募り、来場者から多くの寄附が寄せられた。

2・3回戦

▽2回戦

初戦となる2回戦、王子谷は西村久毅（敦賀高教）と対戦した。頭を丸め、闘志に燃える王子谷。相四つからの激しい組手争いが続く。残り2分23秒、王子谷が相手の右足を刈上げ、抵抗する西村を力で引つ張り、大外刈を決め、一本。実力を見せつけた。

上川の初戦の相手は佐藤和幸（愛知県警）。組手の攻防でも全く崩れない上川は、佐藤を上下左右に揺さぶる。最後は払腰で一本。上川は順当に勝ち進んだ。

原沢は対垣田恭兵（旭化成）戦で、技をすかさず、あわや倒れそうになるものの、判定で辛勝した。

七戸の相手は制野孝二郎（センコ）。七戸は開始早々に攻勢をかける制野を足技で崩し、寝技に持ち込もうとするが時間が一杯となり試合終了。僅差で七戸が勝利を収めた。

若手有力の小川雄勢（明治大）は小林督之（旭化成）を上四方固で、西潟健太（旭化成）は尾原琢仁（筑波大）を大外巻込でそれぞれ降した。



3回戦＝上川（上）の大外返



2回戦＝王子谷（上）が大外刈を決める

▽3回戦

王子谷は青山正次郎（福岡県警）と対決した。開始直後、王子谷の浮落が技有となる。その後も巧みに足技を使い、青山を翻弄する。中盤、再び王子谷が放った浮落が有効、そのまま横四方固を決め、合技一本。

全日本の制覇へ向け、快調にとばす。上川は小川竜昂（新日鐵住金）と対戦。ケンカ四つの組手から足技で小川を揺さぶり内股に入ろうとするが、ここは阻まれる。今度は攻める小川の不意をつき、大外返を決めた。

昨年のリベンジを果すべく、原沢に対して、気合十分な神谷快（筑波大）。開始早々、神谷は奥襟を掴み、攻勢をかける。しかし、昨年王者は容易にそれをいなす。原沢は幾度と内股に入ろうとするが決まらないものの、僅差により勝ち上がった。

七戸は河原正太（京葉ガス）の猛烈な攻めにも、動じず、軽くあしらう。試合後半、奥襟を掴んだ七戸は低い体勢から、内股を放った。これがかつかりと決まり、一本となった。

小川雄勢は僅差で田中大貴（新日鐵住金）に、西潟は有効で制野龍太郎（宮城県警）に、それぞれ勝利した。



募金活動の様子

平成28年熊本地震への義援金を募る
4月14日から発生した熊本地震に
対し、全日本柔道連盟では大会当日、日本武道館西口玄関前にて、井上康生男子監督を初め、羽賀龍之介選手、大野将平選手、高藤直寿選手等が、声高々に義援金を募った。大会終了後、山本洋祐強化副委員長は「本日の義援金により83万2683円が集まった。皇后盃で集まった68万円とともに、連休明けに寄附したいと思う」と語った。

準々決勝



準々決勝＝上川（上）の大外返



準々決勝Ⅱ王子谷（右）の隅落



準々決勝Ⅲ七戸（右）の大内刈



準々決勝Ⅳ原沢（右）が内股を仕掛ける

王子谷、元王者対決を制す

王子谷剛志 ○隅落 加藤博剛

王子谷は小さく息を吐き、試合場へ上がる。4年前の全日本王者である加藤博剛（千葉県警）の攻めから逃れようと場外に出た王子谷は指導1を受ける。引き手を取らせようとしない王子谷は加藤に対し、足技で攻める。加藤も場外による指導1となる。両者なかなかポイントを取れないが、試合後半、加藤の仕掛けた足技を王子谷はうまく外して隅落を仕掛け、有効を奪う。その後も王子谷は攻撃の手を休めずに試合は終了。準決勝へ駒を進めた。

上川、実力者対決を制す

上川大樹 ○合技 西潟健太

実力者同士の対決となった上川対西潟。右組の上川に対し、西潟は左組で組手を争う。西潟の右袖を取り、じわじわと追い込む上川。力技で大外刈にもつていこうとした西潟を、上川は大外返でなぎ倒す。すぐに崩上四方固へと移行し、合技一本。上川がベスト4進出を決めた。

原沢、僅差により辛勝

原沢久喜 ②僅差 百瀬 優

「連覇をし、一番強いことを証明して五輪に臨みたい」と話していた原沢だが、2・3回戦同様、いつもの積極的な攻めが見られない。右ケンカ四つから、巧みにフエイントを仕掛ける原沢。しかし、百瀬優（旭化成）も指導1を受ける。原沢は、ポイントを取れずに攻めあぐね、そのまま僅差により勝利した。

隙を突いた七戸の大内刈

七戸龍 ○合技 小川雄勢

父（小川直也）から「絶対勝つ気持ちでいけ」と送り出された小川雄勢。体重別の雪辱を果すべく、七戸に挑む。七戸の右奥襟を狙い、相手の動きをとめようと試みる小川だが、うまく逃れた七戸。小川が油断したその組際に、七戸は得意の大内刈で刈り倒す。これが技有となり、崩れた小川にすかさず、崩袈袢固を決め、合技一本とした。

七戸が小川に対し、実力差を見せつけた試合となった。

準決勝

王子谷、圧巻の大外巻込

王子谷剛志 ○大外巻込 七戸龍

ここまで快調の王子谷。対七戸では一昨年の体重別で一敗している。

序盤、組手争いで膠着し、王子谷は指導1を受ける。しかし、やはり今大会の王子谷は違った。その後、猛攻をかけ、審判の「待て」も聞こえないのか場外まで七戸を攻め立てる。七戸も指導を受けた。王子谷の流れを変えようと一呼吸おき、距離を取る七戸。王子谷の前襟を掴み、

組際の大内刈で攻めようとするが、それを巧みに躲す王子谷。中盤、攻めの手を緩めない王子谷は七戸に大外巻込を仕掛け、技有とする。その後、王子谷は再び大外巻込で七戸の右足を刈りに出た。今度は七戸の巨体が宙を舞いながら回転し、その背はドタツと畳についた。見事一本に、場内からは割れんばかりの拍手が起こる。しかし、その顔には笑顔はない。勝つて兎の緒を締めた王子谷、再びの優勝へ向け決勝へ臨む。五輪代表へと大会に臨んだ七戸であったが、準決勝で敗退となった。

上川、原沢に判定勝

上川大樹 ●判定 原沢久喜

一昨年の体重別選手権大会で対戦している両者。その時は上川が払腰で勝っている。しかし、今年の体重別では上川を降して優勝し、連勝の山を積み上げる原沢。2年前とは別人といったいい。上川は無敵の原沢に勝機を見出すことができるのか。

早々、相四つの争いから上川は強烈な出足払を繰り出し、原沢が倒れる。ポイントにはならなかったが、五輪を目前にプレッシャーを感じているのか、やはり原沢にはいつもの積極的な攻めは見られない。対照的に前へ前へと圧力をかけ続ける上川。残り約3分で両者指導1となる。間合いを探る両者、上川は払腰に移ろうとするが、ここは原沢が堪える。しかし、時間一杯となり、上川が判定勝ち、決勝へと昇り詰めた。

今日の原沢からは脅威を感じなかったという上川。「原沢は、追う立場から追われる立場になって心境の変化があり、消極的な柔道になっていたのかな」と語った。

準決勝＝王子谷（右）が大外巻込を決める

準決勝＝上川（上）の出足払



決勝＝技有となった王子谷（右）の大外刈

決 勝

王子谷剛志、栄光再び

王子谷剛志 ○合技 上川大樹

奇しくも2年前の決勝と同じ対戦となった王子谷対上川。2年前は王子谷が大外刈で一本勝ち、初優勝を飾っている。五輪代表候補をそれぞれ降し、平成28年全日本の「台風の目」となった両者。王子谷は再び覇を狙い、上川は雪辱に燃えた。

開始直後、大外刈を繰り返した王子谷。ポイントにはならないものの、気迫で上川を圧倒する。続けざま、王子谷が放った大外刈が次は技有となる。苦しくなった上川の動きは鈍い。上川は指導1となる。王子谷は再々の大外刈を狙うが上川は必死に阻んだ。息があがっている上川。対する王子谷は眼光鋭く、攻撃の手を緩めない。最後は支釣込足で技有を奪い、合技一本。王子谷は2年ぶり2回目の日本一の座を掴んだ。暗いトンネルを抜け、掴んだ再びの栄光に喜びも一入。満面の笑みを浮かべる王子谷であった。

再び全日本王者を目指し、掴んだ栄光

◎優勝Ⅱ王子谷剛志選手（旭化成）



頭を丸めて試合に挑んだ王子谷選手。初戦から気迫が感じられた。

「昨年の1年間、調子が上がらない期間が続きました。脱却するにはこの大会しかないと思ってました」

この大会、七戸選手との準決勝での勝利が、優勝への糸口になった。

勝因は何だったのでしょうか。

「準決勝での勝因は、前に出て攻めることができたことです。この大会を通して、この攻める姿勢は貫けたと思います。それに僕は五輪がかかっていませんでしたしね」

確かに4月の体重別までの試合と今日とでは試合運びが変化したように思える。一体何があつたのか。

「去年、負けが続く、僕の周りから去っていった人々がいた。しかし、負けが続いても、いつまでも僕の傍で親身になって支えてくれる人々も

いた。その人たちのためにも思い、気持ちを切り替えました。後は、頭も切り替え、丸めたことですかね」
大会での目標は何だったのでしょうか。

「全日本王者に帰ることが目標でした。そして、初めて優勝した時と、今回と、気持ちの面でも似ていました。試合はきついのですが、楽しい。準決勝が終わった後、監督に「全然疲れません」と伝えました」
同期のライバル、原沢選手は、リオ五輪代表を決めた。一歩前に進んでいるように思えるが。

「負けがこんで悔しい気持ちはありましたが、それが大きくなると柔道が小さくなってしまう。自分は自分だと思ってやってきました。今日は原沢選手と試合をしていないので、次に対戦する時は勝ちたいですね」
最後に今後の意気込みを聞いた。
「2020年の東京五輪へ向けた代

○準優勝Ⅱ上川大樹選手（京葉ガス）



「王子谷選手との決勝では、今回は油断しないよう先に行こうと思いました」

た。しかし、向こうが前に出て来て止められませんでした。

準決勝からは、自分の組手になれない場面は、左で返すことしかできませんでした。自分から入ってけば、違う試合が出来たのかな。

ロンドン五輪後の4年間は、ケガも多く、それを直してやってきましたが、リオ五輪に選ばれる立場ではありませんでした。そこは不甲斐ないなと思います。自分はロンドンでいい結果を出すことはできませんでした。その前まで、日本は100kg超級のメダルを取っていました。自分がその流れを止めてしまったので、原沢選手にはしっかりリオで金メダルをとってもらい、お祝いしたいなという気持ちはありますね」

▽3位Ⅱ七戸龍選手（九州電力）



「悔しい…悔しいです。準決勝での敗因は組手が雑になったことです。指導

を意識してしまいました。自分から攻めて投げて勝つことが出来ませんでした。

決勝で原沢選手とやりたかったですね。そのために練習してきましたが、力及ばずでした。この大会では優勝するつもりで挑みましたが、負けてしまいました。今からまた、仕切り直します」

▽5位Ⅱ西潟健太選手（旭化成）



「選抜の時よりはよく出来たと思います。しかし、勝負の潮目がつかめませんでした。今年こそはという思いがありましたが残念です」

▽5位Ⅱ小川雄勢選手（明治大学）



「福岡に続き、もう一歩という感触はありました。自分の力が足りませんでした。自分の小さなミスを七戸選手は見逃しませんでした。

負けて試合場から戻ると、父から「……これが全日本の舞台だよ」と言われました。今日の試合では全然ダメです。次は優勝候補と言われるよう力をつけたい」

優勝 王子谷剛志

[illegible]

リオデジャネイロ五輪へ向けて



100kg超級五輪代表
原沢久喜選手
(JRA)

100 kg 超級五輪代表に決定した原沢選手に今後の意気込みを伺った。

うことになりましたが、重圧にまけずに戦うことで、名を刻んでいきたいですね」

100 kg 超級では、フランスのテディ・リネール選手が王者として君臨している。対策はあるのだろうか。

「リネール選手は他の選手と比べ、頭一つ抜けています。自分がリネール選手の流れに乗ると、その試合は勝てないと思います。何か相手が予想しないようなことをしないと勝てないんじゃないかな。五輪で金メダルを取るためには、大きく違ったものを準備しなければいけないと、今、考えています」

これまで鎧よろいを削ってきた七戸の存在はどのようなものであろうか。「七戸選手を目標にいままでやってきました。七戸さんの思いも背負って五輪に臨みたいです」

五輪のプレッシャーはこんなもんじやない。リオでは必ず金メダルをとりたい。残り100日間、しっかりと練習していきたいです」

100 kg 超級の日の丸を背負う重みは相当なものだと思うが。

「伝統ある100kg超級の日の丸を背負

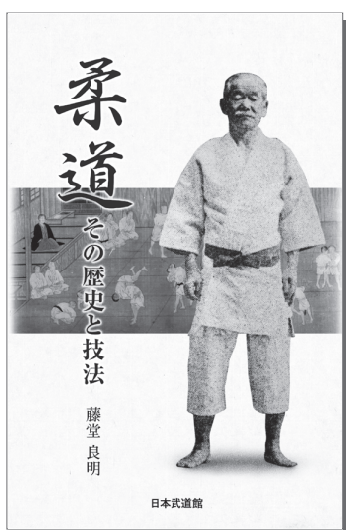


好評発売中!

柔道 その歴史と技法

筑波大学体育系教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円＋税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた「武道としての柔道」を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

目次

- | | | |
|--|--|---|
| <p>第一章 組討ちの起こりと技法</p> <p>体術の起こりと技法</p> <p>組討ちの体系化と技法</p> | <p>第三章 講道館柔道の歴史と技法</p> <p>講道館柔道の創設と技法</p> <p>嘉納治五郎の乱取開発</p> <p>講道館柔道の行事と整備</p> <p>警視庁武術大会の勝利と技法</p> <p>学校体操への柔道導入の試み</p> <p>学校における柔道普及の実態</p> <p>高専柔道の起こりと技法</p> <p>嘉納治五郎の他武道への接近</p> <p>精力善用国民体育の創案と技法</p> <p>全日本柔道選士権大会の開催と技法</p> | <p>第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法</p> <p>第二次大戦中の柔道界と技法</p> <p>第二次大戦後の柔道禁止と復活</p> <p>格技柔道から武道柔道へ</p> <p>女子柔道の競技化と技法</p> |
| <p>第二章 柔術諸流派の歴史と技法</p> <p>竹内流腰廻</p> <p>関口新心流柔術</p> <p>起倒流柔術</p> <p>起倒流柔道</p> <p>直信流柔道</p> <p>真之神道流柔術</p> <p>天神真楊流柔術</p> | <p>第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題</p> <p>柔道技法の変遷と特徴</p> <p>柔道の国際的普及と発展</p> <p>段位制度の国際比較</p> <p>柔道の国際化と課題</p> | |



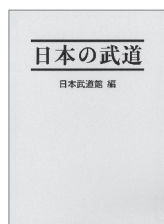
編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

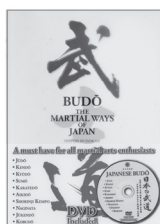
日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット
(B5判・上製・DVD付・336頁)

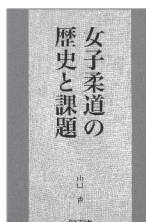


役に立つ 少年柔道指導法

講道館道場指導部課長

向井 幹博 著

(A5判・並製・DVD付・414頁)



女子柔道の 歴史と課題

筑波大学体育系准教授

山口 香 著

(四六判・上製・412頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)

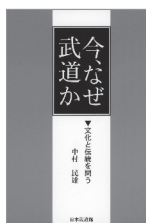


柔道は すばらしい

柔道塾紀柔館館長

腹巻 宏一 著

(四六判・上製・310頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



武道 子どもの心を育む

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)

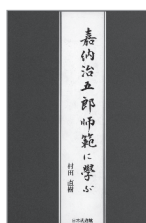


柔道の国際化 —その歴史と課題—

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・552頁)



嘉納治五郎師範に学ぶ

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・292頁)

第31回皇后盃全日本女子柔道選手権大会



山部、女王返り咲き 78kg 超級五輪代表の座を掴む

第31回皇后盃全日本女子柔道選手権大会（主催Ⅱ講道館、全日本柔道連盟）が4月17日、横浜文化体育館において開催された。推薦選手3名と各地区から選出された34名の計37名が出場し、体重無差別による女子柔道日本一を目指して熱戦が展開された。

大会に先立って、4月14日から発生した熊本地震により亡くなられた方々に対して黙祷が捧げられた。また、受付ロビーでは、山下泰裕全日本柔道連盟副会長や井上康生男子監督、リオデジャネイロ五輪女子日本代表選手らによる被災者支援のための募金活動が行われた。

決勝は、昨年と同じ山部佳苗（ミキハウス）と田知本愛（ALSOK）の対戦となり、山部が合技一本で勝利し、2年ぶり3度目の優勝を果たした。3位には梅津志悠（三井住友海上）と市橋寿々華（大阪府警）が入った。

大会終了後、全日本柔道連盟は強化委員会を開いて代表者を選考。記者会見でリオデジャネイロ五輪78kg超級の代表選手として、山部佳苗の内定を発表した。



柔の形



大会に先立って選手たちは熊本地震の犠牲者に黙祷を捧げた



講道館護身術



熊本県出身の山下泰裕全柔連副会長をはじめ、井上康生男子監督やリオ五輪代表の近藤亜美、中村美里選手等が募金を呼びかけ、約68万円の募金が寄せられた。

試合は、国際柔道連盟試合審判規定で行われ、試合時間は6分間、勝敗が決しない場合は旗判定となる。

大会では、昨年準優勝の山部佳苗、昨年優勝の田知本愛、それを追う市橋寿々華の他に、3年ぶり2度目の優勝を狙う緒方亜香里（了徳寺学園）等に注目が集まった。

■序盤戦

▽第1ブロック

梅津志悠は皇后盃初出場。初戦の2回戦で秋場麻優（環太平洋大学）に崩壊姿固で一本勝すると、3回戦で佐俣優依（帝京大）を僅差で破り、4回戦に勝ち上った。

2度目の優勝を狙う緒方亜香里は、初戦で前田奈恵子（JRR東日本）を僅差で降し、2回戦で昨年3位の山本沙羅（大阪体育大）から大外刈で有効を奪って勝利。続く3回戦では、糸田晴乃（大成高）を大外刈一本で退け、4回戦へと駒を進めた。

▽第2ブロック

藤原恵美（筑波大）は、2回戦で滝川真央（日本大）を判定で破り、3回戦では、佐藤美咲（立命館大）から一本背負投で有効をとり、ベス

ト8へと駒を進めた。

昨年準優勝の山部佳苗は、2回戦で烏帽子美久（JRR東日本）と対戦。開始早々、払腰で有効を奪ってから横四方固で一本。3回戦では、菅原歩巴（盛岡農業高教）を判定で破り、4回戦へ。昨年、決勝での雪辱を晴らすべく、順当に勝ち進んだ。

▽第3ブロック

井坂希望（千葉県警）は、2回戦の日高美沙希（ミキハウス）、3回戦の高橋ルイ（オージー技研）をと

もに判定で退け、4回戦進出。連覇を狙う田知本愛は、2回戦は高橋千尋（国際武道大）から5分間の激闘の末、払腰の有効を奪って勝利。続く3回戦は、松延祐里（JRR東日本）を判定で降し、勝ち進んだ。

▽第4ブロック

能智亜衣美（筑波大）は、2回戦で中村優（樽谷塾）を僅差で降し、3回戦では町純香（公仁会病院）を判定で破り、4回戦進出。

昨年3位の市橋寿々華は初戦（2回戦）で、月波光貴穂（帝京大）を判定で破り、続いて3回戦は橋高朱里（金沢学院大）から隅落の有効を奪って降した。



4回戦＝梅津（下）が緒方（上）を大内刈で崩す

■4回戦（準々決勝）

緒方、無念の敗退

梅津志悠 ○崩壊姿固 緒方亜香里

初出場ながら健闘を見せる梅津とここまで攻勢をかけて勝ち進んだ緒方。梅津が指導を受けるとその後の攻防が一転する。梅津は積極的に攻め、大内刈を繰り出し、緒方の半身を畳に落とし有効を奪う。そのまま押さえ込み、崩壊姿固に移行して一本勝。梅津が選手権者の緒方を降す快挙で、準決勝進出を決めた。



4回戦Ⅱ山部（左）は終始攻め続けた

◇5位Ⅱ緒方亜香里選手（了徳寺学園）

「復活した姿を見せたいと大会に臨みました。負けたが楽しかった。やる気が出てきたので、また大きな大会で優勝できるように頑張りたい」

山部、判定の末、勝利

山部佳苗 ○判定 藤原恵美

奥襟をねらう山部、それを必死に抑える藤原。山部は攻め続けるが、藤原は間合いを詰めさせない。攻防は最後まで続き、そのまま試合は終了。判定（3―0）で山部が勝利。



4回戦Ⅱ勝負強さを見せた田知本（左）

山部は3度目の優勝を目指し、準決勝に進んだ。

田知本、豪快に一本

田知本愛 ○払腰 井坂希望

ケンカ四つの状態から手の内を探り合い、両者譲らない。場内から激しく飛び、田知本が井坂の両襟（びし）を持って攻勢をかける。開始1分37秒、井坂が奥襟を取ろうとした瞬間、田知本がすかさず捕らえ、払腰を豪快に決めて一本勝。田知本が順調に準決勝に進んだ。



4回戦Ⅱ60kgの体重差がある市橋（右）と能智（左）の対決

旗判定の末、市橋勝利

市橋寿々華 ○判定 能智亜衣美

4月の選抜体重別選手権大会63kg級優勝の能智。相手は約60kgの体重差がある市橋。能智は果敢に奥襟を掴んで足技で攻めていく。一方の市橋は指導が入るものの、負けじと圧力をかけて支釣込足で攻める。その後、能智が場外で指導1、続けて指導2を受ける。そのまま試合終了。判定（3―0）で市橋が勝利。市橋は昨年に続き、準決勝に駒を進めた。

■準決勝

山部、気迫の払腰

山部佳苗 ○払腰 梅津志悠

右組の両者、梅津が積極的の攻めていくと、山部も梅津の両襟をしつかり掴んで攻める。開始45秒、ここで試合が動く。

梅津が釣手を横襟から変える、その一瞬の隙を突いた山部が、梅津の右を切るように払腰を決め、見事な一本勝。昨年に続き、決勝戦に上り詰めた。

◇3位 梅津志悠選手（三井住友海上）

「ここまで来られるとは思っていませんでした。自分でもビックリしています。力は出し切れたと思います。練習で身につけた足技がよく出せたので、今後一本を取る柔道を心にかけていきたいです」

田知本、判定で勝利

田知本愛 ●判定 市橋寿々華

中学時代から対戦を重ね、3年連続準決勝で顔を並べた両者。田知本

左、市橋右のケンカ四つ。両者が両襟を掴みにかかるが互いに決め手に欠け、指導を受ける。市橋は上から釣手を取りにいき、田知本の圧力を抑えにいく。一方の田知本は大外刈からの払腰で攻めるがなかなか決まらない。その後の組手争いでは両者が釣手を上から取りにいく展開。ここで、積極的戦意が欠けるとして再び両者が指導を受ける。市橋が払腰を狙うが、引手が不十分で決まらない。その後膠着状態が続き、試合は判定へとつづれた。

結果、田知本が判定（3-0）で市橋に競り勝ち、決勝に進んだ。

◇3位 市橋寿々華選手（大阪府警）

「体がよく動いたと感じたのは準決勝からです。選考から外れていたのので思いっきり試合ができました。どの大会でも優勝を目指したいです」



準決勝＝山部（左）の払腰が決まる



準決勝 田知本（左）は市橋（右）を制した





決勝＝山部（左）が田知本（右）に隅落を仕掛ける

■決勝

山部、執念の一本勝ち

山部佳苗 ○合技 田知本愛

3年連続で同じ顔合わせとなった決勝。組み合つて技が出ず、互いに指導を受ける。先に山部が払腰で攻めるも間合いが足りない。対する田知本は、指導を受けるも支釣込足で応戦。その後も一進一退の攻防が続く。試合は残り1分を切ると突然、田知本が膝から崩れ落ち、立ち上がれなくなる。試合が再開するも、再び田知本が膝から崩れる。攻撃の手を緩めない山部は、田知本から隅落の有効を奪い、そのまま横四方固で合技一本。3度目の優勝を飾った。田知本は起き上がれずに担架で運ばれ、後に、左膝前十字靭帯および外側副靭帯損傷と判明した。

大会終了後の強化委員会では、全日本選抜体重別選手権大会と本大会の優勝、田知本との直接対決での一本勝が評価された結果、山部がリオデジャネイロ五輪78kg超級の日本代表に選出された。国際大会の実績では2番手とされていた山部が、大逆転で夢の大舞台への切符を掴んだ。

マンガ・武道の偉人たち



マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎(柔道)、高野佐三郎(剣道)、阿波研造(弓道)、
双葉山(相撲)、船越義珍(空手道)、植芝盛平(合気道)、宗道臣(少林寺拳法)、
園部秀雄と三田村千代(なぎなた)、鶴沢尚信(銃剣道)

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

自分はまだまだ追いかける立場

◎優勝 山部佳苗選手（ミキハウス）



「昨年負けたことがすごく悔しかったので、このタイトルがとれて嬉しいです。応援に来てくれた会社の方々の前で勝てたことが一番嬉しいです」

昨年涙を吞んだ決勝の敗北から、1年間の苦しい戦いを振り返った。

「多くのプレッシャーもありました。自分との戦いでもあったのですが、最後の最後まで応援してくれる方々がいたおかげで皇后盃も優勝ができました」

3年連続で決勝の対戦相手は田知本愛選手。3度目の挑戦となる今回、どのような思いで決勝に挑んだのであろうか。

「絶対に下がないという思いでした。この大会では一本を

取って勝たなければ五輪代表に選ばれることはないと思っていました。だからこそ決勝終盤は、何が何でも一本を取らなければいけない。どんな方法でも一本を取りにこうと思っていました」

自分の成長を実感できた大会だったと語る。

「自分ができるすべてのことを出そうという気持ちで臨んだこの大会。練習してきたことが試合で発揮できました。最後の最後で一本勝することができて良かったと思います」

ここにきてやっと掴んだ五輪代表の座。最後に今後の決意を述べた。「全日本選抜柔道体重別選手権大会、皇后盃と勝つことができましたが、自分はまだまだ追いかける立場。0・1%の可能性があるのなら、その可能性を掴み取って、オリンピックでいい結果を残したいと思います。目標は世界一。8月の五輪では金メダルを目指して頑張りたいです」

第31回皇后盃 全日本女子柔道選手権大会

優勝 山部 佳苗

第1ブロック		第2ブロック		第3ブロック		第4ブロック	
秋場 麻優 二段 (北海道・環太平洋大)	初	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	松延 祐里 三段 (東京・JR東日本)	初	稲森 奈見 三段 (推薦・三井住友海上)	初
梅津 志悠 初段 (九州・三井住友海上)	初	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	田知本 愛 四段 (推薦・ALSOK)	11	町 純香 三段 (九州・光仁会病院)	初
佐保 優依 二段 (東京・帝京大)	初	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	佐々木 美里 三段 (北海道・札幌刑務所)	2	小出 莉奈 三段 (四国・徳島県警)	初
泉 真生 二段 (関東・山梨学院大)	初	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	高橋 千尋 四段 (関東・国際武道大)	初	伊藤 七海 初段 (東海・藤枝順心高)	初
桑田 晴乃 初段 (東海・大成高)	初	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	中村 優 二段 (東北・樽谷塾)	2	橋高 朱里 三段 (北信越・金沢学院大)	7
緒方 亜香里 四段 (関東・了徳寺学園)	5	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	能智 亜衣 美 三段 (関東・筑波大)	2	市橋 寿々華 四段 (近畿・大阪府警)	初
前田 奈恵子 三段 (東京・JR東日本)	3	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	松延 祐里 三段 (東京・JR東日本)	初	新添 左季 二段 (関東・山梨学院大)	3
佐藤 美咲 三段 (近畿・立命館大)	初	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	高橋 杏香 二段 (東京・東海大)	3	月波 光貴穂 二段 (東京・帝京大)	3
奥本 華月 二段 (四国・帝京大)	2	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	井坂 希望 三段 (関東・千葉県警)	2		
滝川 真央 二段 (東京・日本大)	4	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	日高 美沙希 三段 (近畿・ミキハウス)	6		
藤原 恵美 二段 (関東・筑波大)	3	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	烏帽子 美久 四段 (東京・JR東日本)	3		
安松 春香 三段 (東京・ALSOK)	3	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	松田 美悠 初段 (北信越・小杉高)	初		
菅原 歩巴 三段 (東北・盛岡農業高校教員)	3	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	松田 美悠 初段 (北信越・小杉高)	初		
菅原 歩巴 三段 (東北・盛岡農業高校教員)	3	山部 佳苗 四段 (推薦・ミキハウス)	初	松田 美悠 初段 (北信越・小杉高)	初		

好評発売中

脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

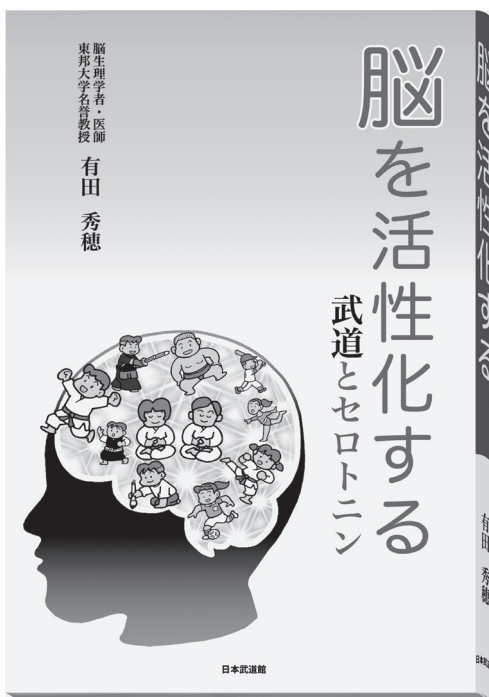
脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。

脳を活性化する

武道とセロトニン



A5判・並製・346頁・1,600円+税

有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン

ストレスとしごき

空海はセロトニン活性の達人

『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング

沢庵の「不動智」とワーキングメモリ

不動明王と心の三原色

『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識

悪夢を消すには？

精進料理とセロトニン合成

「茶の湯」とセロトニンの生活

「自然に体が動いた」を脳科学で解く

勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する

「武道の礼法」は社会脳を育む

相撲の「四股」は品性を育む

書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり

スキンシップとオキシトシン

空手の稽古は坐禅修行に通じる

脳は「丹田呼吸法」をどう操るか

試合における最適な覚醒状態

サイエンスは「気」をどこまで解明したか

仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長 松永 光

東邦大学名誉教授 有田 秀穂

…他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ<http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

好評発売中！

公益財団法人講道館道場指導部課長
向井幹博
(むかい みきひろ) 著

収録時間170分を超える
解説DVD付属！

役に
立つ

少年柔道指導法

DVD付き

役に
立つ **少年柔道指導法**

向井 幹博



A5判・並製・DVD付・414頁・本体2400円十税

少年柔道指導の現場で役に立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくかった部分を映像で紹介。
また、少年柔道が抱える様々な問題点を、講道館所蔵の柔道文献から、解決の糸口を探っていく。

〈目次〉

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 第1部 解説編 | 第9章 少年柔道の未来のために |
| 第一章 少年柔道は柔道指導の原点 | 第二章 実技編 |
| 第二章 基本動作の指導 | 第一章 礼法の指導 |
| 第三章 技の指導 | 第二章 受け身の指導 |
| 第四章 教育の中の柔道 | 第三章 基本動作の指導 |
| 第五章 指導の工夫 | 第四章 トレーニング法の指導 |
| 第六章 少年規定の変遷と問題点 | 第五章 柔道の練習法 |
| 第七章 柔道の安全指導 | 第六章 投技の指導 |
| 第八章 東日本大震災への講道館の対応 | 第七章 固技の指導 |



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。